

議事概要記録

開催日時	令和元年6月8日(土) 12:30 ~ 14:30		開催場所	済生会和歌山病院 7階 多目的ホール
会議種別	令和元年度 第2回理事会		議長	田中 規仁
			書記	神藤 洋次
出席者 <敬称略>	竹中 正人、田中 規仁、木下 博之、田原 靖子、神藤 洋次、栗林 伴有、丸澤 佳子、久保 光史、脇村 小津江、山本 須美子、中尾 光孝、森井 眞治、秋田 豊和、畑 忠良 大石 博晃 15名			
欠席者 <敬称略>	藤谷 泰明、相根 弘史	オブザーバー		
次 第				
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 令和元年度第2回常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 公益事業活動 ② 定款・渉外 ③ 災害対策委員会 ④ 精度管理 ⑤ 会誌編集 ⑥ ホームページ ⑦ 会報 ⑧ 月例行事予定表 ⑨ 表彰委員会 7. 連盟 8. 第40回和歌山県医学検査学会報告 10. その他 <p>審議事項</p> <p>和臨技永年勤続表彰について</p> <p>臨薬卸売企業による資料等の運搬依頼について</p> <p>公益事業（わかやま健康と食のフェスタ2019等）の実務委員について</p>			
	決議事項 及び 継続事項	<p>竹中会長より開会宣言があった。</p> <p>冒頭、竹中会長より、今年度より和歌山県災害医療本部の委員に加わり、和臨技会員はもとより、和歌山県民に今まで以上に貢献して行かなくてはならないと挨拶があった。また、この後、総会があり成立に向け、一致団結し頑張っていきたいと報告があった。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">報告事項</div>		

会長報告

<日臨技関連>

4月27日(土) 日臨技理事会が開催された以下の報告があった。

2019年度日臨技精度管理報告会が11月30日 東京ビックサイトで開催
生涯教育推進事業検討WG委員会立ち上がり、助成金の見直しの可能性がある
5月18、19日 第68回日臨技学会が開催されたと報告があった。

公立那賀病院 口広智一技師が、平成30年度学術奨励賞 最優秀演題賞受賞を
第68回日臨技学会の式典にて表彰されたと報告があった。

<支部関連>

7月20日(土) 支部幹事会が開催されると報告があった。

<和臨技関連>

4月20日(土) 和臨技オリエンテーションが開催されたと報告があった。

6月29、30日 一泊合同研修会が開催されると報告があった。

和歌山県災害医療本部会議に加わったと報告があった。

<他団体関連>

7月1日(月) 小川しんじ氏決起集会がセラトン都ホテルであると報告があつた。

第2回常務理事会

和臨技永年勤続表彰について

和臨技永年勤続表彰は、和臨技に通算25年所属し、かつ満50歳以上という規定があるが、システム管理が困難であり、表彰者の見落としが生じる可能性がある。今後、この規定をどのように適用していくか、審議したいと報告した。

臨薬卸売企業による資料等の運搬依頼について

現在、試薬卸会社に荷物(送付物、PCや荷物等)の運搬をお願いしている場合があるが、臨床検査薬協会では、この協会に所属している試薬卸会社が顧客の荷物(送付物、PCや荷物等)の運搬する行為は利益供与にあたり、コンプライアンスに抵触するとの見解である。和臨技としても、今後、試薬卸会社に運搬を依頼しないことと報告し承認された。

大きな荷物などをどのように輸送するかは、栗林理事が運送会社と協議するとなった。また、会員に周知するために、神藤理事が施設長宛てにメールにて広報すると報告した。

事務局報告

- ① ベッドサイド実践講習会(旧多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会)の実施要領が届いたと報告した。
- ② 日臨技より、平成31年度事業における都道府県技師会への協力要請があったと報告した。
- ③ 平成31年度生涯教育推進研修会への助成についての説明があったと報告した。
- ④ 都道府県災害対策研修会に和臨技の代表として田中副会長が受講すると報告した。
- ⑤ 和歌山県災害医療本部の参加が決定し、登録者名簿及び連絡先を竹中

会長、田中副会長、木下副会長を登録者としたと報告した。
(災害時に和歌山県災害医療本部立ち上げの際に、関係機関の代表の方に
県庁に参集いただくための連絡先名簿)

- ⑥ ピンクリボン着用週間in紀南の通知があったと報告した。
- ⑦ 検体採取に関する厚生労働省指定講習会の受講促進の依頼があり、受講していない会員に広報していくと報告した。
- ⑧ 自然災害による被災した会員が発生した場合に、共済金等の支給申請手続きがあることを、再認識して欲しいと報告した。
- ⑨ 日本糖尿病療養指導士機構より、和歌山県医学検査学会などを開催する際に、日本糖尿病療養指導士の認定更新にも利用できるため、和歌山県医学検査学会参加証の発行の要請があったと報告した。

学術部報告

一泊合同研修会の参加者が68名であると報告があった。

経理部報告

各事業で予算書を提出してもらっているが、実施した事業の決算書が届かないことがあるので、各担当は会計部に決算書の報告をして頂きたいと説明があった。また決算書に領収書を添付する場合の報告ルールを周知するために田原会計部長がマニュアルを作成し理事に配布すると報告があった。

各種委員会報告

公益事業活動

①医療セミナー

開催日：令和元年10月19日(土)

場所：イオンモール和歌山 イオンホール

メインテーマ「動脈硬化症」で、講師は医師とコメディカルで行う予定で、現在講師を選定中であると報告があった。

②全国「検査と健康展」 和歌山会場

開催日：令和元年10月19日(土)

場所：イオンモール和歌山 イオンホール

開催すると報告があった。

相談コーナーの医師を海南医療センター 児玉先生は決定したが、一人が辞退されたので、現在、後任を捜していると報告があった。

③HIV AIDS 啓発活動及びHIV 即日検査

開催日：令和元年11月24日(日)

場所：和歌山大学

内容については和大実行委員会と県健康推進課にて協議中と報告があった。

④わかやま健康と食のフェスタ 2019

開催日：2019年11月9日(土)・10日(日)

場所：和歌山ビッグウェーブ

実施内容

認知症チェックと糖化最終糖化産物測定(AGEs)の2項目を機器で測定す

ると報告があった。

⑤和歌山県地域ニューリーダー育成講習会

開催日：2019年9月1日（日）12時～16時まで

場所：和歌山 JA ビル 11階 A

実務委員は常務理事4名で行うと報告があった。

定款・渉外

和臨技永年勤続表彰の規定見直しについて審議したいと報告があった。

災害対策委員会

特になし

精度管理

令和元年度臨床検査精度管理調査事業について

令和元年度（第32回）和歌山県臨床検査技師会 臨床検査精度管理調査案内書及び申込書を作成し以下のように計画していると報告があった。

- ・6月発送の行事予定と共に発送
- ・昨年度参加施設へのメール配信
- ・ホームページへの掲載

令和元年度臨床検査精度管理調査事業スケジュールについての報告があった。

精度管理試料梱包日 令和元年8月25日（日）に精度管理委員会を開催の予定と報告があった。

JAMTQC システムの説明会参加について

以下の日程と参加があったと報告があった。

日時：令和元年5月18日（土）、19日（日）

会場：下関学会 生涯学習プラザ3F 第18会場・第19会場

参加者：4名

久保光史、口広智一（微生物）、前原純（免疫血清）、平康雄大（臨床化学）
今後、JAMTQC システムを運用して行くために、①項目の選定②試料数、種類③
設問事項④評価設定等を事前に分野毎に決定し、その項目をシステム会社に設定
して頂く方向で検討が必要であると考えたと説明があった

会誌編集

令和元年度の論文募集と和臨技オリエンテーション、一泊合同研修会、平成30
年度学術奨励賞 最優秀演題賞受賞者の感想文を掲載して行くと報告があった。

ホームページ

ホームページリニューアルについて

令和元年6月8日以降にホームページのリニューアルを行い、当面の間は新旧の
ホームページを閲覧できるようにすると報告があった。

会報

和臨技会報 72号の発刊の準備をしていると報告があった。

月例行事予定表

特になし。

その他

事務局より、各施設に発送物を配布する際に、会員在住歴と住所等を J AMT システムより最新のをダウンロードして発送してほしいと報告した。

今年度、ベッドサイド実践講習会（旧多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会）の開催を令和元年 11 月 16 日・17 日 会場は済生会和歌山病院で予定している旨の報告があった

連盟

活動報告があった。

第 40 回和歌山県医学検査学会

開催日：令和 2 年 2 月 15 日、16 日

会場：Hotel & Resorts WAKAYAMA-MINABE（旧 みなべロイヤル）

企画、宿泊等は準備中であると報告があった。

審議事項

和臨技永年勤続表彰について

現在は、和臨技に通算 25 年所属し、かつ満 50 歳以上と規定されている。

問題点

和臨技通算 25 年間所属の確認がシステムでできない。JAMT システムで会員一覧の検索を行うと、都道府県技師会入会日と都道府県技師会所属年数は確認できるが、和臨技通算年数は確認できない。現在は、日臨技より来る日臨技永年勤続表彰者リストと和臨技事務局が管理しているファイルを元に確認している。今後、中途採用者や転勤など、途中入退会の多様な状況が想定されるため現在の管理方法では管理が困難であり、表彰者の見落としが発生する可能性があるため、現在の表彰規定をどのように規定していくか継続審議となった。

全国「検査と健康展」の謝礼について

相談コーナーでの臨床検査専門医には 3 万円、イオンで診療所開設する際の管理医には 1 万円の謝礼を支払うことが提案され承認された。

HIV AIDS 啓発活動及び HIV 即日検査の実務委員について

HIV 即日検査では採血作業が発生するため、日頃から採血行為をしている和歌山市内地区より実務委員を募集し、方法は秋田理事より要請があると提案され承認された。

わかやま健康と食のフェスタ 2019 実務委員について

11/9 責任者 木下、実務 4 名

11/10 責任者 丸澤理事、実務 4 名

以上の 2 日間の実務委員を木下副会長より要請があると提案され承認された。

	木下副会長より、この後、定時総会がありますのでご協力お願いしますと閉会の挨拶があった。				
記録作成	令和元年6月9日	氏名	神藤 洋次	提出	令和元年6月14日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可